【E：健康を守るため】

　31ページから32ページ

　禁止されている物質と方法。

スポーツにおいて使用が禁止される物質と方法は、「禁止表国際基準（禁止表）」に記載され、分類によって禁止される場面が異なる。また、「禁止表」は少なくとも1年に1回改定される。治療を受ける、薬を使用する前に、常に最新の「禁止表」を確認する必要がある。

▶この章の目標

1. 「禁止表」が改定されるタイミングを説明できる。
2. 「禁止表」には禁止物質・方法が記載されていることを説明できる。
3. 禁止物質・方法の分類や、特定物質・方法について説明できる。

▶全世界・全スポーツの共通ルール「禁止表国際基準（禁止表）」とは。

禁止物質・禁止方法は、WADAが決定し、コードにもとづく国際基準の1つである「禁止表」に掲載されます。少なくとも1年に1回（毎年1月1日）改定されるため、最新の禁止表は、JADA公式サイトで確認しましょう。最新の科学的根拠にもとづき、1年を通して数回変更になることもあります。

▶禁止物質・方法の分類。

禁止物質・方法は禁止される場面と競技によって3つに区分されます。

* 常に禁止される物質と方法。：競技会検査と競技会外検査、どちらで検出されても違反の対象となる。
* 競技会時において禁止される物質と方法。：競技会検査で検出された場合、違反の対象となる。
* 特定競技において禁止される物質と方法。：一部の競技でのみ禁止される物質・方法。特定競技は「禁止表」を確認。

※「禁止表」には、禁止される全ての物質名が詳細に記載されているわけではありません。必ず使用前に、専門家に相談してください。

▶「禁止表」に記載されている物質でそのほかに定義されているもの。

* 特定物質・方法：競技力向上以外の目的（例えば、病気やケガの治療）で、使用される可能性が高い物質や方法のことです。ドーピング検査により検出された物質が、特定物質・方法の使用によるものかどうか、その物質がどのように体内に入ったか、アスリートが意図的に使用していないことを証明できるかどうかで、制裁期間が決まります。
* 濫用物質：スポーツの領域以外において社会で頻繁に濫用される物質のことです。禁止表では、具体的に特定され、禁止されています（例：コカイン、ヘロイン等）。

▶ケーススタディ：こんな失敗に注意！

［ケース］ 病気の治療薬の変更でまさか！

病気の治療のため、定期的に通院している。症状がひどくなったため、薬を変更することになった。以前の薬は禁止物質ではなかった。同じ病気の治療薬だし大丈夫だろう。→ドーピング検査で陽性に！変更後の薬に禁止物質が含まれていた！薬の変更時に、確認すれば良かった…。

　★チェックポイント：同じ病気の治療薬でも禁止物質を含むもの、含まないものがある。

＜アスリートがとるべき行動＞

薬が変更になったら、スポーツファーマシストやグローバルDROで必ず確認。また、薬が変更されなくても、禁止表の改定に合わせて、再度確認が必要！